

事務事業名	交通安全協会制服補充支援事業		所属部局	市民部	単位番号	4043	
			所属課室	みんなでまちづくり推進課	課長名	野澤 淨	
	☒ 実施計画事業		所属担当	交通安全・防犯	担当者名	青沼博文	
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目	01 一般 0 2 0 1 1 1 0 2 0 0 9		
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金			
施策	10	交通安全対策の強化					
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度) ☒ 期間限定複数年度 (21 ~ 25 年度)			法令根拠	南アルプス市交通安全協会事業補助金交付要綱		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)			
	南アルプス交通安全協会に対して補助金を交付し、制服の購入を補助する。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
	平成23年度 補助金額(予定) 1, 770, 456円、平成24年度 補助金額(予定) 1, 770, 456円、平成25年度 補助金額(予定) 1, 770, 456円			その他補助金	1,434		
	男性294名1,163,456円＋女性80名607,000円をH21年度からH25年度までの5年間確保し終了する予定						
						計	1,434

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	南アルプス交通安全協会からの申請に基づき交付 補助金交付額 1, 434, 000円
23年度活動予定	南アルプス交通安全協会からの申請に基づき交付 補助金交付予定額 1, 456, 000円
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
南アルプス交通安全協会	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
補助金交付により、交通安全活動に従事する会員の身なりを統一することで交通する市民が安全に気を配る指標となり、円滑な団体運営ができるよう努める	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
交通事故防止につながる支援	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 補助金支払対象者数	人
イ	
ウ	
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 団体	団体
イ	
ウ	
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 街頭指導実施者数	人
イ 研修会等出席者数	人
ウ	
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 交通事故発生件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,434	1,434	1,456	1,456	1,456			
	事業費計 (A)		千円	1,434	1,434	1,456	1,456	1,456	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10			
		人件費計 (B)	千円	45	45	40	40	40	0	0	
		(A)+(B)		千円	1,479	1,479	1,496	1,496	1,496	0	0
活動指標		アイ	人	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0			
		ウ									
対象指標		アイ	団体	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
		ウ									
成果指標		アイ	人	800.0	800.0	803.0	803.0	803.0			
		ウ	人	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0			
上位成果指標		アイ	件	403.0	385.0						
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年に交通安全協会を設立し、全役員に制服を配布し、日々活動する中で制服の劣化が進み、役員の改選に伴い制服を配布する際、制服の予備等が無く体に合わない等の問題が発生したため5年計画で補助する
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	交通安全協会(協議事務局)も免許更新時に加入促進事業を展開しているが、加入者の減少により運営経費が低下している
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	本来は、交通安全協会の予算の範囲で可能な対応方法を検討すべき

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	平成21年度から平成25年度までの5年間で、交通安全協会の運営方法を踏まえ助言をしつつ、制服補充支援を終了する
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	平成21年度から平成25年度までの5年計画を作成し交通安全協会に制服補充支援を終了することを周知

事務事業名	交通安全協会制服補充支援事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	----------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 交通安全協会との連携を強化し、交通安全運動を推進することで安全な環境づくり並び交通事故防止活動に結びつく
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由↓] 交通安全協会が自ら新規会員の加入促進等を積極的に行い、独自の収入で制服を購入できるよう検討することで見直し余地あり
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 現状の支援策が今現在においては妥当と判断する
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 現状の支援策が今現在においては妥当と判断する
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 新たに制服を購入することが出来ない点については影響が ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 平成25年で廃止とする市の決定事項であるため
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 交通安全協会が自ら新規会員の加入促進等を積極的に行い、独自の収入で制服を購入できるよう検討することで見直し余地あり
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 現在、市の窓口はみんなでまちづくり推進課に一元化されおり妥当と判断する
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 各種団体への補助金については、市全体として見直しが検討される中、特定対象者への限定支援であるため検討の余地はあるが、平成25年度には終了を表明しているため、計画期間内は継続を希望する。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	交通安全協会が自ら新規会員の加入促進等を積極的に行い、独自の収入で制服を購入できるよう検討することで見直し余地あり。 各種団体への補助金については、市全体として見直しが検討される中、特定対象者への限定支援であるため検討の余地はあるが、平成25年度には終了を表明しているため、計画期間内は継続を希望する。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める) …複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☒ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①H21～25の5年間の補助金と決まっているので現状維持は最低限の目標である。		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					